



音楽で広がる思い




齊藤さんを交えて、癒しの音楽レクリエーション(左:黒田さん、右:齊藤さん)

楽しい雰囲気や熱い思いに、人は引きつけられます。音楽が大好きな職員の黒田実さん。当初は1人で始めた音楽レクリエーション(※以下音楽レク)という活動に、1人2人と人が集まっていきました。黒田さんの思いが広がっていった様子を、インタビューを交えながらお伝えします。

始まりの音

デイサービスや、入所されている利用者の方の余暇活動として、黒田さんは数年前から音楽レクを始めました。そのきっかけについて、黒田さんの思いを聞きました。

『以前に勤めていた老人福祉施設での出し物で、昔から趣味だったギターを使って、童謡を演奏しました。そのとき、ふだんはほとんど反応のない利用者の方が、満面の笑みで歌っていました。のを見て、これだ!と思いました。』

何気ない出来事がきっかけとなり始まった音楽レクですが、その後どのように広がりを見せていったのでしょうか。

伝わる思い実感

音楽レクでは、利用者の方と簡単な手遊びを使って童謡を歌うことから始まり、途中から鈴やタンバリンなどの楽器を使います。そして、ギター伴奏に合わせて楽器を鳴らしながら共に歌います。『音楽レクが終わった後も、利用者の方の笑顔は続くんです。そんな瞬間を目の当たりにすると、音楽の

凄さを思い知らされます』と話す黒田さん。

そんな音楽レクを通して、利用者の方や、職員からの感想を紹介します。

・音楽レク大好きです。とても素敵。また聴かせてください。
(90歳女性)

・みんなで歌ったり、好きな歌をリクエストして演奏してもらったりするのがうれしい。楽しみにしています。
(74歳女性)

・利用者の方たちが、とても喜んでいきます。黒田さん自身が楽しんでるので、私たちも楽しくなります。癒しの時間です。
(職員の門前さん)



黒田さんは個人的に他施設を訪問しています

重なる音

ある日、職員の齊藤俊一さんも交えて音楽レクを行いました。いつもとは違う選曲、声の大きさや響きに、フロアーの雰囲気が変わっていました。

この後、2人に感想を聞いてみました。

黒田さん ギターの話をしているうちに、一緒にしてみようということになりました。齊藤さんはギターがとても上手なので、ゲストとして弾き語りしてもらうことが多いです。2人になると、音量もパワフルになり、よりスケールの大きな音楽レクを行うことができます。

齊藤さん 黒田さんの音楽レクを初めて見て、人を楽しませる力に感動し、自ら「一緒にお手伝いをさせてもらいたい」と声をかけました。当日は、初めてと思えないほどスムーズに、楽しんで行うことができました。

広がる思い

就業時間が過ぎた後、デイサービスのホールからギターの音色が聞こえてきました。その音色に誘われ足を運ぶと、リラックスした表情でギターを演奏する数人の職員の姿。その様子を見て『僕もやってみようかな』とときどき、こうして集まろう』と話す姿など、そこには、業務中とは少し違った、それぞれの表情がありました。



くつろいだ雰囲気の中でのギター練習



楽器を鳴らしながら、大きな声でのびのびと歌われる利用者の方々

最後に、音楽レクにかけ
る思いや目標について、黒
田さんに聞きました。

『目標は、ひとりでも多
くの方が笑ってくれること
です。現在は、レクリエーショ
ンのひとつですが、今後は
少しずつ「音楽療法」と言
えるものになるよう極めて
いきたいと思っています。』

ふだんは、笑顔や活動の少
ない方でも、音楽レクでは生
き生きとした表情を見せて
くださいます。その陰には、
このような職員の連帯感が
あります。

ひとりの力は小さいけれど、
ひとりが心から楽しみ、意欲
を持って動くこととする活力が、
利用者の方や周りの職員に
も伝わり大きな力となって
います。今後も愛全園の活力
の輪を広げていきます。

みんなの広場

～職員紹介～

愛全園職員紹介の「トッ
プバッター」は、せりかわ 羅川美智代
さんです。

なぜ「トップバッター」
かというと、野球大好き♡福
岡ソフトバンクホークスの
大ファン♡

ふだんはテレビ観戦に盛
り上がり、年に一度は、はる
ばる福岡ヤフドームへ!!
メガホンを両手に、黄色い
声援をとばす姿は、まるで別
人!!



そんな羅川さんの
つぶやき..:

毎試合、選手のファインプ
レイはパワーと感動をもらう
と同時に、私にとって何にも
勝るビタミン剤。疲れも吹っ
飛び元気も100倍!!
野球も仕事も、チームワー
クが大切です。

私も利用者の方にパワーと
感動を与えられる「チーム愛
全園」を目指し頑張ります。